

—京劇にみる女性、亡霊、そして現代中国—

斬られる女



2022年11月13日(日)
15:00~16:30

話し手 田村 容子さん

北海道大学 大学院文学研究院
中国文化論研究室 准教授
／中国演劇、中国文学

開催方式 対面とオンラインのハイブリッド開催

会場 北海道大学 文系共同講義棟6番教室
(札幌市北区北10条西7丁目)

お申込み 下記URLもしくはQRコードから
申込フォームにアクセスしてください
<https://forms.gle/j4ixTFvqXj1MrxrW6>
お申込みいただいた方に参加方法をお知らせします

お申し込みは
こちらから



ホームページは
こちらから



主催 北海道大学 大学院文学研究院
人文学カフェ企画ワーキンググループ

連絡先 北海道大学 大学院文学研究院 研究推進室
TEL: 011-706-4083 Email: kenkyu@let.hokudai.ac.jp

斬られる女

—京劇にみる女性、亡霊、そして現代中国—

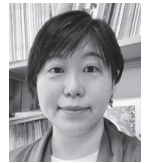
中国の伝統劇である京劇は、歌唱と伴奏の入った音楽劇です。俳優は、型のある演技を通して人物を表現しますが、その役柄は類型化されており、性別や身分などが扮装によってわかりやすく示されます。19世紀から20世紀にかけて隆盛した京劇の演技は、長い歴史をもつ伝統的な様式を継承しながら、日本や西洋の影響を受けた近代劇の要素も吸収し、時代に合わせて変化し続けています。

今回の人文学カフェでは、古典小説『水滸伝』を原作とするいくつかの作品の鑑賞を通し、それらに共通してあらわれる「斬られる女」の演技や、死者の霊魂がどのように表現されるかに注目します。日本を経由して受容された舞台装置、写実的なセットを用いて撮影された京劇映画、上演から削除された霊魂の存在、「斬られる女」と「斬る男」の心理描写、といったトピックから、現代中国における京劇の伝統と現在をご紹介します。

話し手のプロフィール

田村 容子(たむら ようこ)さん

北海道大学 大学院文学研究院
中国文化論研究室 准教授／中国演劇、中国文学



1975年愛知県生まれ。神戸大学大学院文化学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。早稲田大学坪内博士記念演劇博物館専任助手(東洋演劇)、福井大学教育地域科学部・国際地域学部准教授、金城学院大学文学部教授を経て、2020年より現職。専門は中国演劇、中国文学。著書に『男旦(おんながた)とモダンガール 二〇世紀中国における京劇の現代化』(中国文庫、2019年)、編著に『中国文学をつまみ食い 『詩経』から『三体』まで』(ミネルヴァ書房、2022年)、『中国文化55のキーワード』(ミネルヴァ書房、2016年)など。

北大人文学カフェとは

北大人文学カフェは、北海道大学大学院文学研究院・文學院の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文社会科学の楽しい話題を通して、みなさんと北大文学研究院との交流を深めていくことを目指しています。

お問い合わせ先

北海道大学 大学院文学研究院 研究推進室
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
TEL 011-706-4083
Email kenkyu@let.hokudai.ac.jp
<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>